

(独) 勤労者退職金共済機構理事長代理（建設業退職金共済事業担当）選任理由

本法人の使命は、中小企業の従業員の福祉の増進と中小企業の振興に寄与すること等を目的に、事業主の相互共済の仕組みにより、手軽で安心、確実な退職金制度を運営するとともに、勤労者の計画的な財産形成を促進することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、機構全体の業務運営に当たり理事長を補佐するとともに、建設業退職金共済事業本部に係る理事長の権限を代理し、併せて、職員を指揮監督し、確実な退職金支給のための各種取組みや加入促進、資産運用等を効果的に実施するとともに、「契約の適正化」、「冗費の削減」といった独立行政法人の経営運営改革に当たっての課題を的確に実施していくことが求められている。

本件公募に対しては、9人の応募があり、選考委員会による書類選考の結果4人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、稗田 昭人氏を最適任と認める旨の審査結果を、任命権者である理事長に提示したところ、理事長も同氏を最適任と判断し、所管大臣との協議を経た上で選任したところである。

任命理由は、直接担当する建設業退職金共済事業について、建設業界の実情を十分踏まえた上で円滑な運営を図るとともに、確実な退職金支給のための取組の強化、業務処理の簡素化・迅速化、加入促進対策の効果的実施など本法人の有する各種課題の解決に向けての積極的な取組と高いマネジメント能力やリーダーシップを発揮することが期待できることに加え、経営運営改革に強い意欲を示しており、理事長の補佐役として最適任者であると判断したものである。